



スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	大幸東団地ふれあいひろば
まちづくり活動名	大幸東団地ふれあいひろば「だべり ing」
活動地域	大幸東団地内集会所、大幸東団地内公園 等
活動の背景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。）</p> <p>平成 28 年度より、豊田中央研究所、日本福祉大学、東京大学の研究チームにより、住み慣れた地域で安心・快適に生活するために何が必要かを検討することを目的に、住民主体の交流の場づくりの支援が開始された（令和元年 9 月末まで継続予定）。団地住民へのアンケート調査と、複数回にわたるワークショップにおいて、住民同士が交流する機会が乏しく、「多世代交流が必要であること」「住民が気軽に集える場が欲しいこと」「自分の能力やスキルを生かして、地域で活躍・貢献したい」という思いが共有されてきた。</p> <p>平成 29 年度より、住民有志によって話し合いや試行的な地域活動を重ねることで、アンケートやワークショップで共有された、子どもからお年寄りまで、多世代の住民が集まり交流することで、緩やかなつながりをつくることの楽しさと大切さを体験してきた。</p> <p>平成 30 年度より、さらに活動を継続し発展させるために、定期的な（月 2 回）つどいの場「大幸東団地ふれあいひろば」を、団地内障がい児童デイケア施設の場所提供等の協力を得て立ち上げ、内容を、住民のみでなく、通所児童との交流にも広げて活動してきた。ひろばの愛称を「だべり ing」とし、平成 31 年度からは開催場所を団地内集会所に変更し、交流の場を提供し続けている。なお、活動初期は、主催側に子育て中の母親が多く関わっていたが、復職、出産等により、困難な状況である。しかし、ポスター作成、掲示等の可能な範囲での協力と、参加者としての交流がある。</p>
目的・目標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 目的：団地住民の交流をはかるために、月 2 回、団地集会所にて「だべり ing」の会を開催し、住民交流の場を提供するとともに、住民参加を促進し、顔の見える関係づくりの構築を図る。 ■ 目標：多世代交流の場、一人暮らし高齢者が気軽に立ち寄れる場、住民それぞれが持っている能力やスキルを発揮できる場となること。 団体が実施している活動が、団地全体に認知され、参加者が増加すること。 ■ 成果：団体の活動をきっかけに、住民同士のつながりが緩やかに広がり、多様なコミュニティが立ち上がり、さまざまな活動が開始していること。（例えば、若いママさんたちの有志が、コミュニティ食堂を開催する、等）。 日常において、住民同士の助け合い・支え合いの風土が醸成され、災害などの緊急時に共助が可能となること。
活動内容	<p>（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>【活動内容・実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大幸東団地ふれあいひろば「だべり ing」の開催（場所：団地集会所） <ul style="list-style-type: none"> ・ 団地住民が気軽に立ち寄れる場を提供し、住民同士のコミュニケーション、関係づくりを図る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が持っている能力やスキルを生かし、趣味の幅を広げたり、学習の機会を提供する。 ・防災・防犯や健康に関すること、認知症高齢者への対応の仕方など、団地内外から講師を招き、生活上必要な知識を増やすための勉強会を開催する。 ・会の運営や活動の方向性等について、参加者同士で話し合う機会を設ける。 <p>■季節行事、イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度は、お花見の会、クリスマス会、フリーマーケット等を開催する予定である。 ・住民の有志で企画・協力してイベントを開催することで、住民の関係づくり、活動団体としての基盤固めをする。 <p>■広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに参加者を増やすために、広報活動を強化する。 ・具体的には、ポスターを作成し、各棟の掲示板に貼りだすことや、チラシを作成し、配布することなどである。 ・将来的には、SNSへの掲載やホームページの作成も検討する。 <p>■連携・協働のための活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる活動の活性化のため、住民の参加を促すため、地域コミュニティの各種団体との連携・協働を検討し、実施する。（例えば老人会のカラオケ大会を共催で行うことや、PTAと一緒にフリーマーケットを実施すること、等）
活動予定期間	平成 31年 4月 ~ 令和 2年 3月
助成金交付申請額	50,000 円
	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<p>審査基準① 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団地住民の中には、高齢になってから移り住み、なじみのない土地で友人・知人がおらず、一人で部屋に引き込まれてしまう例も見られ、人間関係の希薄さ、孤立化が進んでいる。このままでは、孤独死などの悲しい事件が起きる可能性は否めない。また、災害時などの緊急時に、住民同士が助け合う風土や仕組みができていない。普段からの住民同士のつながりづくりは喫緊の課題であり、住民同士の交流の場は、必要不可欠である。 ・平成28年度から、支援をいただいていた豊田中央研究所の研究チームの支援が今年の9月で終了することになっている。団体の自立的な運営の基盤を強化し、活動を展開するために、団地全体に会の活動を知ってもらい、参加者や活動の担い手を増やしていく必要がある。したがって、広報活動の強化・拡大は欠かせないものである。 ・「だべりing」の会の会場費や消耗品費は、参加者の寄付金で賄っている。経済的な面においても自立的・持続的な活動をするために、助成金が必要である。 	

審査基準② 実現性

- ・活動内容が具体的になっているか
- ・活動内容の資金計画などは妥当か
- ・人員や規模などは妥当か

(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

- ・現在、月2回の「だべり ing」の会は、レコード鑑賞や防災ミニ講座の開催、フリートーク（おしゃべり）などの交流を楽しむ時間を持ちつつ、相談タイムを設けている。会の運営や活動計画などを話し合う体制ができている。
- ・今までも参加者からの寄付金によって団体運営してきた実績があり、助成金を超える部分については、参加者からの寄付金を用いて活動する。
- ・現状では、まだ「だべり ing」の会のことを知らない住民が多いので、広報活動(ポスターの貼付、チラシ配布、イベントの開催など)を強化する。
- ・参加者の中には学区連絡協議会の役員もおり、地域で連携・協力できる体制がある。

審査基準③ 発展性

- ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
- ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか

(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)

- ・活動内容の充実を図るために、生活上必要な「健康」「認知症」「防災・防犯」「食」などをテーマに掲げ、住民の中から、または外部から講師を招いてミニ講座を開催し、参加者の日常に活かす学びの場を提供する。特に、住民の中には、さまざまな能力やスキルを持った人がいるので、声をかけて仲間の輪を広げていく効果も期待できる。
- ・「だべり ing」の会で交流した参加者同士がつながりを持ち、自分の関心事や能力、スキルに応じて、コミュニティ活動が広がっていくことを期待している。現在、子育て世代の人たちでコミュニティ食堂を開催したいという要望がある。このように住民から出てきた声を大切に育み、後方支援をすることも「ふれあいひろば」の重要な役割である。
- ・災害などの緊急時の共助を可能にするためには、普段からの住民同士の関係づくりが不可欠である。「だべり ing」の会を継続的に開催することで、日常生活における助け合い・支えあいの風土を団地内につくり上げることが可能となる。
- ・住民が持っているさまざまな能力やスキルをコミュニティの中で生かし合うことで、楽しみや生きがい、「出番と役割」を創出し、地域共生社会の構築に一翼を担うことができると考えている。

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
砂田橋学区連絡協議会	役員の方々に、「だべり ing」の会やイベント時に参加し、関係者への声掛け等の協力をいただいている。
UR 都市機構	団地内の施設利用において、協力をいただいている。
豊田中央研究所(2019年9月で支援終了) 名古屋市コミュニティサポーター	会の運営や広報活動などのへ協力、後方支援

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
	4	・だべりingの会 (9日、28日)	・今後の活動の方向性について話し合い ・防災ミニ講座の開催
	5	・だべりingの会 (14日、26日)	・活動内容、活動計画の話し合い。 ・老人会との協働したカラオケの会
	6	・だべりingの会 (11日、23日)	・会の規約の検討 ・認知症高齢者とのかかわり方講座
	7	・だべりingの会 (9日、28日)	・会の規約、活動方針の検討 ・レコード鑑賞とフリートーク
	8	・だべりingの会 (13日、25日)	・広報に関する検討 ・健康講座、家でできる脳トレ体操
	9	・だべりingの会 (10日、22日)	・体験を交えた防災講座（防災食の試食等）
	10	・だべりingの会 (8日、27日)	・フリーマーケットの計画と実施
	11	・だべりingの会 (12日、24日)	・団地周辺のまちあるき（身近にある社会資源の見直し）
	12	・だべりingの会 (10日、22日)	・クリスマス会の検討 ・クリスマス会の実施
	1	・だべりingの会 (14日、26日)	・新年会 ・活動のふりかえり
	2	・だべりingの会 (11日、23日) ・活動報告の提出	・活動報告書の提出に向けて内容確認
	3	・だべりingの会 (10日、22日)	・次年度の活動計画の検討

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円			50,000
活動経費の内訳	消耗品費	交流会 事務用品 ^他	2,000
	印刷費	交流会広報用 ポスター（@50×50枚×12回）	30,000
	賃借費	交流会 集会所利用料（@750×24回）	18,000
※交流会とは、「だべりing」の会のこと			
支出合計			50,000

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。